



薬学部オープンリサーチセンター—理学 部ハイテクリサーチセンター—共催 特 別講演

日 時 平成 21 年 7 月 2 日 (木曜日)

午後 3 時から 5 時 00 分

場 所 薬学部B館、第三会議室 (B203)

演 者 細見 彰 教授

筑波大名誉教授・日本化学会フェロー・
中央大学&京都薬科大学客員教授・九大先導研学術顧問

「創造的研究の勧め。考え方とコツ」

演者は有機金属化学を中心とする有機化学の広範な分野にわたる研究を行ってきた。一つは、有機金属化合物および有機ヘテロ元素化合物について、物理有機化学的な側面から構造と反応性の関係を明らかにした研究であり、もう一つは、これら物理有機化学的研究の成果を基にした新規精密有機合成反応の開発や生理活性化合物の合成などの有機合成化学に関する研究に大別できる。本講演では有機金属化合物特に有機ケイ素化合物を用いる有機合成に関して創造的研究を進める上での「考え方とコツ」について講演する。例えば引用数が 3,000 報を超え、“*Name Reaction*”として広く認知され、世界中の有機合成化学者の注目を集めた著名なアリルシランを用いる細見反応の発見の経緯や、ケイ素、サマリウム、マンガンなどの金属を利用した 1,3-脱離反応を機軸とする母体のアゾメチンイリド、チオカルボニルイリド、カルボニルイリドなど広範なデザインされた“*Tailor made*”の非安定化 1,3-双極子反応剤の合成の発見の経緯など、その他多くの有機金属化合物を有機合成に用いる際の基本的考え方と新反応発見の「考え方とコツ」について、演者の研究経験に基づいて講演する。

皆様多数のご来場をお待ちしております。

薬学部オープンリサーチセンター & 理学部ハイテクリサーチセンター共催